

平成 24 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

公法（憲法・行政法）問題紙

A日程

平成 23 年 10 月 23 日

13 : 30～15 : 30 (120 分)

(180 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 公法の問題紙は 1 ページから 2 ページである。

科 目 名	ページ
憲 法	1
行 政 法	2

3. 解答用紙は、3 枚である。解答用紙の追加は認めない。

科 目 名	枚数	配点
憲 法	2 枚	100 点
行 政 法	1 枚	80 点
合 計	3 枚	180 点

4. 解答用紙は 3 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

憲 法

(配点100点)

問題1 (60点)

生存権の法的性格と限界について論じなさい。

問題2 (40点)

日本国憲法における違憲審査制の性格について論じなさい。

行政法

(配点80点)

問題

行政上の義務履行確保制度としての「行政法の強制執行」(行政的執行)に関し次の点を説明しなさい。

- 1 「行政上の強制執行」の意義と存在理由
- 2 「行政上の強制執行」に関する4種類の伝統的手段
- 3 「行政上の強制執行」ができない場合の司法的執行の可否